

# KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.653

2017.9・10 Sep・Oct

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7  
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/西田 勉  
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11  
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479  
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA  
年間聖句

「あなたの未来には希望がある」  
(エレミヤ書31章17節)

## 「ブランディング」への取り組み No.8



いよいよ一般の方々への表出(10月1日)が迫ってきました。YMCAが世の中にとってもう一度、魅力的な存在になっていくことを私たちは目指します。今回はQ&Aの形で大切なことを確認します。

Q:「日本YMCA基本原則とブランディングは関係ありますか?」

A:もちろん、あります。日本YMCA基本原則は、カンパラ原則に遡(さかのぼ)り、カンパラ原則はパリ基準に遡るものです。これらは、それぞれの時代に「YMCAとは何か」を言い表したものです。そして日本YMCA基本原則を、現代の人々にわかりやすいように、「ビジョン、バリュー、パーソナリティー(注)」という視点で言い表したのが、ブランディングの柱となるブランドコンセプトです。

ブランディングとは、自分たちの真実(大切にしているもの)がより多くの方に伝わるということです。だからこそ、その真実をより磨き上げることが最も大切な課題となります。

その基盤となるのが日本YMCA基本原則なのです。

注)

ビジョン…互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。  
バリュー…したい何かがみつき、誰かとつながる。私よくなる、かけがえのない場所。  
パーソナリティー…心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。



## YMCAキャンプ100th 関西圏YMCA合同 富士登山キャンプ2017



8月9日~13日までの4泊5日の日程で、例年実施されている関西のYMCA合同富士登山キャンプが今年も実施されました。このキャンプは、2020年に迎えるYMCAキャンプ100年へのアプローチとしてスタートし、3回目の実施となりました。

滋賀、京都、奈良、大阪、神戸からスタッフ、リーダー、キャンパー総勢49名が日本YMCA同盟東山荘をベースに、富士登山にチャレンジをしました。

8月11日、須走口登山道5合目よりスタートし、あいにくの天候の中でしたが、子どもたちは雨具を着て、雲の中を歩きました。そして、15:42に7合目標高3140mに到着。山小屋で夕食を頂いて、早めの就寝をして、翌12日4:19再び山頂に向け出発しました。最後の難関である胸突を越えて、8:00に須走口頂上久須志神社に到着しました。

厳しい天候の中、高山病にかかるキャンパーもいる中、関西のYMCAのリーダー、キャンパーがお互いを支え、ひとりひとりが強く自分を奮い立たせ、全員が登頂に成功しました。

報告:関西YMCA合同富士登山  
キャンプディレクター 坂本 孝司



## 名誉会員が推挙されました

神戸キリスト教青年会会則に基づいて以下5名の方々が名誉会員とされました。  
**宇都宮佳果さん、嘉納洋さん、嘉納忠夫さん、木島三雄さん、城純一さん**  
名誉会員となるにはさまざまな条件がありますが、維持会員としてYMCAを長きにわたりお支えいただいている方、そして年齢も考慮して常議員会で推挙されるものです。何よりも、ほぼ半世紀にわたり維持会員として名実共に活動、奉仕されてこられた方々で、私たちの偉大な先輩として誇りとするところです。今後ともお元気で活躍されますように心よりお祈りいたします。

## 三宮会館 初の協働プログラム

この夏、YMCAの日本語夏季集中プログラムに参加している留学生とライブ&シニアハウス神戸北野の入居者との初めての交流会が開催されました。夏の納涼プログラムとして、盆踊りでは、一緒に振り付けを覚えながら、リズムに合わせてレッツダンス!!

スイカ割りでは、孫のような年代の海外の学生と入居者が声をかけあい、大歓声で盛り上がりました。

夕食はお好み焼きパーティ、レストランの全面サポート、また入居者のボランティアさんが焼き方の指導をしてくださり、留学生も自分で焼いたお好み焼きを美味しく食べてながら、入居者との会話も弾み、大いに盛り上がった交流会でした。

お互いのタラントを活かす活動、協働プログラムがこれからも楽しみです。

次は10月29日に三宮会館で『秋まつり』を協働開催します。ぜひ足をお運びください。



## 第20回 インターナショナル・チャリティーラン2017

—「あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。」—

神戸YMCAチャリティーランは今年で20回目の節目を迎えます。昨年度も多く参加者や協賛企業の方々に支えられ、全国で集められた支援金で1万人以上の心身に障がいのある子どもたちや若者たち、ボランティアがキャンプを楽しむことができました。今年もぜひ、みなさんのご参加、ご支援をお願いいたします。

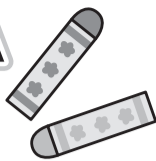


日 時 2017年11月3日(金・祝)  
会 場 しあわせの村(運動広場およびジョギングコース)  
種 目 小学生駅伝(4.5、6年生 1チーム4名 4.9km)  
1/10マラソン(中学生以上 個人タイムレース)  
グループラン(原則5名以内のグループでチーム編成 2.0km)  
1/100マラソン(記録会)





# 学校法人 神戸YMCA ちとせ幼稚園



## 「夏期保育」



今年の夏も暑かったですね。そんな夏真っ盛りの8月22～24日の3日間、神戸YMCAちとせ幼稚園では夏期保育を行いました。

「おはようございます!」と登園する子どもたちは皆、陽に焼けた顔から白い歯がのぞく満面の笑みで元気いっぱい!そして、心持ち背も伸びて大きくなった気がします。久しぶりに会うお友だちや先生との

再会を喜びながら、早速水着に着替えて遊び始めます。

神戸YMCA幼稚園の夏期保育は、園庭設置の大きなプールで遊んだり、ジャンボシャボン玉を飛ばしたり、冷たいスライムの感触を味わったり、ボディペインティングで全身絵の具まみれになったり、泥んこ遊びをしたり…と「夏ならではの遊び」を存分に楽しめます。この時期になるとすっかり「水」と仲良しになった子どもたちは、プールで水しぶきをバシャバシャたてながら鬼ごっこをしたり、自ら頭を水につけて潜ろうとしたり、プールの中の動きもとても大胆です。そして、泥んこもスライムも絵の具やシャボン玉も、暑い中だからこそ感じる「冷たい!」「気持ちいい!」を全身で感じて大きな声を出して遊んでいます。最初は少し抵抗があって、恐る恐る絵の具やスライムに触り始めた年少さんも、お友だちと一緒に体験するうちに「わあ!」「すごい!」「見て!」「おもしろいね」とたくさん声が出始め、お兄さんやお姉さんの遊ぶ姿に刺激されてチャレンジしていました。夏の暑さの中で心や体を開放して遊ぶ喜びを存分に味わえた夏期保育でした。



## 「今の育ち」と「先につながる育ち」 保育園



季節の変わり目は子どもにとっても成長の変わり目です。春、植物の芽生えや虫が増えてくるのを感じる中で環境の変化を感じます。夏、水遊びやキャンプなどの体験の中で環境の豊かさを感じます。

保育園では「今の育ち」と「先につながる育ち」を見据える視点を大切に日々教育・保育を行っています。子どもに関わる大人はつつい目に見える「今の育ち」に心を奪われますが、未来につながる育ちについてはなかなか考えが及ばないところですが、

西宮地域の保育園では7月下旬に4・5歳児合同でキャンプを行いました。普段とは違う環境、時間でのかかわりの中で、保育園の中では見えない子どもの力、子どもの豊かさに気づかされました。日頃はネガティブな部分に目を向けがちなのですが、キャンプでは子どもたちが自然に気づいたり、周りに目を向けたりする様子を見せる中で、大人が学ばされることが多いと感じました。

今、乳児保育・幼児教育の中では、世界の変化、日本の状況を受けてかつてないほどその「質」についての論議が盛んですが、YMCAはキャンプなどのグループワーク、地域社会のニーズ、そして豊かな未来を創ろうという意思など、多くのものを受け継いできた中で、私たちの保育の豊かさが名実ともに認められる時を迎えていると感じています。

秋は気候も恵まれ活動も豊かになるとき、与えられている環境の喜びを感じるようになるように関わっていききたいと思えます。



# 学童の夏 キャンプへ向けて!



西宮の用海育成センターではこの夏休みも多くの子ども達が元気に過ごしています。1年生にとっては初めての、2年生は2回目、3年生にとっては育成センターで過ごす最後の夏休みです。3年にもなると、1・2年生に「〇〇しよう!」と声をかける姿が見られて、本当に頼もしく感じます。

さて、育成センターでの夏休み行事といえば、カレー作り、500円持ってお買い物、ホットドック作り、さよならパーティ、夏のキャンプ等、多くの行事があります。その中でも特に子どもたちが楽しみにしているのが、西宮市立山東自然の家で1泊2日で行く夏キャンプです。1年生から3年生まで、指導員、ボランティアリーダーを含め総勢約130名でキャンプへ出かけます。



1年生の中には、初めて保護者の方と離れてお泊りという子ども達もおり、ドキドキしながら自然の中で仲間と共に過ごす機会になっています。また、日常の保育では、1～3年生の縦割りのグループ編成ですが、キャンプ中は同学年のグループで生活することにしています。より自分と近い興味や関心を持った仲間と過ごすことで、お互いに良い刺激を受け、活動の幅が大きく広がります。子ども達も、日常とは異なる同じ学年の仲間と共に活動することを、ドキドキワクワク楽しみにしている様子です。

いつも3月に卒所する子ども達に「育成センターでの一番の思い出は何?」と聞くと「夏のキャンプ!」と言う答えが多く聞かれます。「楽しい」の中にも、キャンプを通して様々な気付き、本物体験、協力する事、助け合う心、多くを学んだことが子ども達の心の中に残っているからではないかと思えます。今年も夏のキャンプを通して、全ての子ども達が大きく成長して欲しいと願っています。



## 会館建築募金

(前号掲載以降～7/31現在)

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)  
岸本悦子、赤松敬子、榛木恵子、長瀬恵美子、松田道子、宗行孝之介、小野勲、橋本かおり、上野恭男、柏原佳子、前田隆・尚子、城純一、大田厚三郎・忠子、仲野良子、高畑笙子、遠山和子、柿原美由紀、塩田和佳子、湯藍藍、慶野法子、東裕子、西田勉、(株)岡工務店 取締役社長 岡栄治、西宮ワイズメンズクラブ、野外活動バンビOBOG会、匿名3件



# 第67回 関西地区 YMCA合唱交歓会

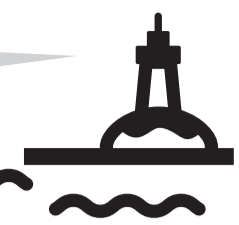


恒例の5団体による交歓会が7月2日(日)生駒市コミュニティーセンターで開催され、奈良YMCA混声合唱団「コールマスキール」の皆さんが会場設営のお世話をしてくださいました。奈良の三枝隆総主事が開会の挨拶をされ、演奏が始まりました。北摂YMCA「コールアゼリア」、大阪南YMCA「もみの木」以上女声、神戸YMCA混声「くさぶえ」、北摂男声「ウイスタリア」、奈良混声「コールマスキール」と、どの団も特徴のある楽しい演奏でした。合同曲「遙かな友」を演奏し、来年の主管北摂YMCAに引継式が行われ、再会を楽しみに帰路につきました。



# 灯台 No.14

Light House



総主事 井上真二

## イマイ・ガーデン

神戸市とシアトル市との間に姉妹都市提携(1957年)がされた後、神戸YMCA創立60周年にシアトルYMCA副総主事が、また1963年シアトル市長来神時に神戸YMCAを訪問して下さり、その後神戸YMCAとシアトルYMCAはパートナーYMCAとして交流を深め、1966年からは中高生交換プログラムが開始し、昨年この素晴らしい交流が50周年を迎えました。

この度、両YMCAの半世紀以上にわたる交流に多大なる貢献をされた今井鎮雄さん(神戸YMCA第6代総主事)を称えるため、リニューアルオープンしたウエストシアトルYMCAの一角にメモリアルガーデンを設けてくださり、その除幕式が7月29日にとり行われました。また、時同じくシアトル市と神戸市と姉妹都市提携60周年記念イベントに参加していた玉田敏郎副市長を代表とする神戸市訪問団も参列して下さいました。

昨今のグローバル社会、デジタル社会において、実際に人と人が行き来し、活動を共にし、食事を共にし、祈りを共にするというアナログ的な昔ながらの交流が、人と人、国と国との間において非常に重要であり、日本YMCA基本原則にある「世界のYMCAとのつながり」のなかで、市民レベルの平和構築、青少年の育成につながっていることを再確認しました。



### 今井鎮雄さんの略歴

- 1920年生まれ、同志社大学法学部卒業
- 1946年4月、灘購買組合(現、生活協同組合コープこうべ)勤務
- 1948年4月、神戸YMCAへ奉職
- 1963年から21年間、神戸YMCA総主事
- 兵庫県教育委員、県・市社会教育委員、頌栄短期大学大学長、啓明学院理事長、神戸市社会福祉協議会理事長、兵庫県青少年本部理事長、神戸市シルバーカレッジ学長なども歴任され、1981年に兵庫県社会賞、1983年神戸市文化賞、1993年神戸新聞平和賞、2000年キリスト教功労者表彰等を受賞されました。
- 2014年11月3日 93歳で逝去

## 神戸YMCA高等学院

### オープンハイスクール開催



高等学院では、8月8日にオープンハイスクールを開催しました。ご参加いただいた多くの中学生の皆さん・保護者の方々に、授業見学・施設見学・体験授業を通して、YMCAならではの学校の雰囲気を感じてもらいました。来校いただいた生徒の皆さん・保護者の皆さま、ありがとうございました。

シヤトル市立チーフ・セルス国際高校教師 ジョシユア・ハンセル

シヤトル市立チーフ・セルス国際高校教師として、今年度は、シヤトル市立チーフ・セルス国際高校で日本語教師をしていました。私は、シヤトルYMCAからの誘いでグローバルティーンプログラムの引率者としてプログラムに参加しました。神戸YMCAが計画した旅の素晴らしいことに本当に感動しました。今年は、シヤトルYMCAは社会状況を考慮してやめざるを得ませんでしたが、参加を決めていた保護者の熱い要望で教育委員会に掛け合いプログラム実施に至りました。

あつという間に出発する日が来ました。関西国際空港に着いて、神戸YMCAのスタッフと一緒に暑い中、広島へ新幹線で行きました。生徒にとつて、最初に感動したのは新幹線の中で食べた「駅弁」の美味しさでした。ほとんどの子が牛飯で、「わあ、もう神戸ビーフ食べているよ」と喜んでる声が多かったです。広島で一番記憶に残ったことはやっぱり被爆者の体験談について聞くことでした。2年前も今回もやっぱり涙が出ない人は一人もいません。

余島に行き、アーチェリー、海水浴、散歩などですごく楽しめました。生徒に聞いた一番良かったのは、福島の子どもたちを招待するパートナーキャンプの事前研修で余島にいた啓明学院の高校生としたキャンプファイヤーでした。日本語でゲームをしたり、アメリカのゲームを紹介したりと楽しい時間を過ごしました。初めてのキャンプを余島で経験した生徒もいました。

神戸に戻り、ホストファミリーに迎えられ5泊6日のホームステイが始まりました。ホストファミリーとは休日と一緒に過(こ)し各家庭で姫路城や奈良、商店街などに行ったりして、次の日、生徒の興奮している声で報告がたくさんありました。西宮YMCA保育園や浜脇児童育成センターとの交流も大好評で「楽しくていつまでも遊びたかった」と言われました。

滞在中、生徒は毎日のように新たな発見と感動がありました。やはり一番印象に残った体験はホームステイでした。生徒がフェアウェルパーティでスピーチをしたように、「観光客として旅すると文化の違いにしか気付きませんが、ホームステイをすると世界中、家族は家族だということが分かります。」と学びを得ていました。

10日間、非常に有意義な日本滞在ができたことにありがとうございます。日本語教師として極めて貴重な機会であり、また今後ともこの交流を深めて行きたいと思っています。



2年前、シヤトル市立チーフ・セルス国際高校で日本語教師をしていた私は、シヤトルYMCAからの誘いでグローバルティーンプログラムの引率者としてプログラムに参加しました。神戸YMCAが計画した旅の素晴らしいことに本当に感動しました。今年は、シヤトルYMCAは社会状況を考慮してやめざるを得ませんでしたが、参加を決めていた保護者の熱い要望で教育委員会に掛け合いプログラム実施に至りました。

あつという間に出発する日が来ました。関西国際空港に着いて、神戸YMCAのスタッフと一緒に暑い中、広島へ新幹線で行きました。生徒にとつて、最初に感動したのは新幹線の中で食べた「駅弁」の美味しさでした。ほとんどの子が牛飯で、「わあ、もう神戸ビーフ食べているよ」と喜んでる声が多かったです。広島で一番記憶に残ったことはやっぱり被爆者の体験談について聞くことでした。2年前も今回もやっぱり涙が出ない人は一人もいません。

余島に行き、アーチェリー、海水浴、散歩などですごく楽しめました。生徒に聞いた一番良かったのは、福島の子どもたちを招待するパートナーキャンプの事前研修で余島にいた啓明学院の高校生としたキャンプファイヤーでした。日本語でゲームをしたり、アメリカのゲームを紹介したりと楽しい時間を過ごしました。初めてのキャンプを余島で経験した生徒もいました。

神戸に戻り、ホストファミリーに迎えられ5泊6日のホームステイが始まりました。ホストファミリーとは休日と一緒に過(こ)し各家庭で姫路城や奈良、商店街などに行ったりして、次の日、生徒の興奮している声で報告がたくさんありました。西宮YMCA保育園や浜脇児童育成センターとの交流も大好評で「楽しくていつまでも遊びたかった」と言われました。

滞在中、生徒は毎日のように新たな発見と感動がありました。やはり一番印象に残った体験はホームステイでした。生徒がフェアウェルパーティでスピーチをしたように、「観光客として旅すると文化の違いにしか気付きませんが、ホームステイをすると世界中、家族は家族だということが分かります。」と学びを得ていました。

10日間、非常に有意義な日本滞在ができたことにありがとうございます。日本語教師として極めて貴重な機会であり、また今後ともこの交流を深めて行きたいと思っています。



ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078(241)7237
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
三田YMCA	☎079(559)0075
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
デキャンプ&コミュニサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435



# Information

YMCAおひさま	☎078(793)9077
西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
あかしこども広場	☎078(918)6355

## 日本語学科ホームカミングデー



7月22日(土)、神戸YMCA学院専門学校日本語学科ではホームカミングデーを開催し、総勢70名の卒業生、新旧講師とそのご家族が参加してくださいました。

20年前に卒業生した学生や、この日のために遥々台湾から駆けつけてくれた学生などもおり、会場では嬉しい再会がたくさんありました。慣れ親しんだ校舎は無くなりましたが、人と人との繋がりを改めて感じる神戸YMCAらしい雰囲気の中、盛会のうちに終えることが出来ました。

## 第六回 Ding Dong Ringers 台湾演奏旅行 7月28日(金)~31日(月)



2007年、高雄YMCAの張 家恵氏の計らいで、高雄や台南でハンドベル演奏を披露してから、2年毎に台湾各YMCAを次々と訪れて来ました。今年、彰化YMCAの演奏会や、張 家恵氏結婚60年祝賀会での演奏を行いました。

スポーツや音楽の交流は、当事者に大きな満足感を与えますが、演奏を始めた瞬間、アツと云う間に心が通じ、受け入れられたと感じた時、励まされ、感謝に満たされるのは私達自身だと思わざるを得ません。今後の台湾と神戸のYMCAの交流が祝福されますように!

(神戸YMCAベルクワイアー、指揮者:阿部 望)

## 第11回 ICCCPJ受け入れ

余島キャンプ場では、7月15日から1ヶ月、第11回ICCPJ(International Camp Counselor Program in Japan)を通じて、台湾・台中 YMCAから大学生3名を受け入れました。慣れない文化、そして生活も異なる中、一生懸命に日本語でコミュニケーションを取り、献身的に奉仕してくださいました。多くの子どもたちやボランティアリーダーとの交わりは、これからの日本語学習にもきっと大きな影響を与えることだと思います。これからの活躍を願っています。



## 神戸YMCA国際ホテル学校・神戸YMCA学院専門学校ホテル学科 新会館竣工記念ホームカミングデイのご案内

日時: 2017年9月27日(水曜日)  
 第1部 オープンハウス 16:00~18:30(時間内出入り自由)  
 挨拶・基調講演 17:00~18:00  
 講演テーマ 「日本のホテル・観光業界の現状と課題(仮題)」  
 株式会社オータパブリケーションズ 代表取締役社長 太田 進 氏  
 第2部 懇親会 18:30~20:30  
 場所: 第1部 神戸YMCA学院専門学校  
 第2部 グリーンヒルホテル神戸  
 会費: 7,000円(卒業生の方) 当日、懇親会会場にて徴収いたします。  
 詳しくは学校公式のHPかFacebookをご覧ください。  
 問い合わせ先: 神戸YMCA学院専門学校 TEL.078-241-7203

## JCCCN親善日系ユースプログラム

7月29日~8月1日、アメリカ・北カルフォルニア日本文化コミュニティセンターより親善バスケットボールチームとその関係者94名が東北地方と神戸を訪ねることを目的として来日しました。センターと神戸YMCAとの交流は、阪神・淡路大震災がきっかけとなり、今年で20年になります。学校法人啓明学院での親善試合、社会福祉法人明星寮長田こどもホームでの交流、被災地NGO協働センターでの災害支援活動の学びを通して日本への理解を深められました。



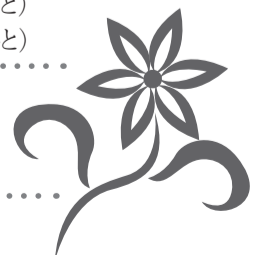
### ★★ 個人消息 ★★

【ご出産】  
 7/27 大塚雅人さん 次女、美咲ちゃん  
 7/31 本田陽人さん 長女、紬ちゃん

【ご結婚】  
 5/6 ちとせ幼稚園 古田智子さん (山本桂司さんと)  
 7/7 ちとせ幼稚園 大塚さやかさん (高橋祐貴さんと)

【退職者】  
 西神南センター・西神戸YMCA幼稚園  
 山本正高さん(8/31)

【ご逝去】  
 7/27 田舎庸男さん(芦屋ワイズ)



## 一般財団法人日本宝くじ協会様より 集会用テントのご寄贈

地域の子どもたちやご家族、また地域活動に役立つことができるようにと、一般財団法人日本宝くじ協会様よりテント10張りが神戸YMCAに届けられました。保育園(認定こども園)やキャンプ場、そしてYMCAの施設周辺での地域の活動の際に有効に使用させていただきます。心より感謝申し上げます。

